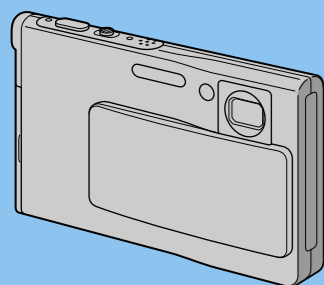
SONY

2-591-809-**04** (1)

サイバーショット取扱説明書

はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。
本書と別冊の「安全のために」「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DSC-T7

Cyber-shot

あわせてご覧ください。

「Cyber-shot Life」(付属CD-ROM)(Windowsのみ対応)
準備から活用まで、サイバーショットの楽しみかたをムービーで紹介します。

取扱説明書「活用編・困ったときは」(別冊)
進んだ活用法と、困ったときの解決方法などを説明します。

サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

1 バッテリーを準備する

❶ バッテリーを入れる。
バッテリー後部をカチッと音がするまで軽く押す。

❷ 電源プラグを引き起こし、コンセントへ

CHARGEランプ
点灯:充電中
消灯:充電終了(**実用充電**)
そのまま約1時間充電を続けると、若干長くバッテリーを使うことができます(**満充電**)。

- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントをご使用ください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源から遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリー	満充電時間(実用充電時間)
NP-FE1(付属)	約170分(約110分)

- 表は、付属のバッテリーNP-FE1を使い切ってから、温度25℃で充分に充電するまでの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

❸ 充電したバッテリーを入れる。

バッテリーカバーを開ける。 バッテリーの端で**取りはずしつまみ**を押しながら入れる。 閉じる。

2 電源を入れ、時計を合わせる

❶ モードスイッチを「📷」にする。

❷ レンズカバーを開けるか⏻電源ボタンを押す。
点灯

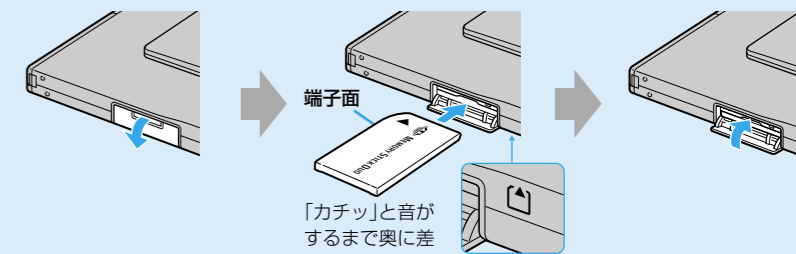
❸ コントロールボタンで、時計を合わせる。

1 ▲/▼で日付表示順を選び、●で決定する。

2 ◀/▶で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して●で決定する。

3 ▶で[実行]を選び、●で決定する。

- 時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

3 "メモリースティック デュオ"を入れる

4 用途に合わせて画像サイズを決める

❶ モードを選ぶ。

静止画のとき
「📷」にする。

動画のとき
「🎞」にする。

❷ /🗑(画像サイズ)ボタンを押す。

❸ 画像サイズを選ぶ。
▲/▼で画像サイズを選ぶ。

- 静止画のときの画面です。動画のときは[640(ファイン)](“メモリースティック PRO デュオ”のみ)、[640(スタンダード)]、[160]から選びます。

❹ /🗑(画像サイズ)ボタンを押して、設定を終了する。

2591809040

付属品の確認をしてください

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- バッテリーチャージャーBC-CS3(1)

- リチャージャブルバッテリーパックNP-FE1(1)/バッテリーケース(1)

- USBケーブル(1)

- A/Vケーブル(1)
- ネックストラップ(1)
- 変換アダプタ(1)

- スタンド(1)

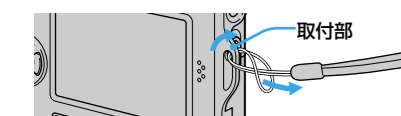
- "メモリースティック デュオ"(32 MB)(1)/メモリースティック デュオ アダプター(1)

- サイバーショットアプリケーションソフトウェア(1)
- サイバーショット取扱説明書 はじめにお読みください(本書)(1)
- サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは(1)
- 安全のために(1)
- 保証書(1)

ご使用前に行ってください

- はじめてお使いになるときは、付属のバッテリーNP-FE1を充電してください。
- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、ネックストラップを取り付けてご使用ください。

■ **サイバーショットオフィシャルWEBサイト**
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

■ **使用上での不明な点や技術的なご質問**
テクニカルインフォメーションセンター
電話:0564-62-4979(おかけ間違いにご注意ください。)
受付時間:月～金曜日 午前9時～午後5時(年末/年始/祝日を除く)

コンセントの電源で本機を使うときは

別売りのACアダプターAC-LS5/AC-LS5Kを使うと、コンセントにつないで使うことができます→*別冊「活用編・困ったときは」13ページ*。取り扱いについて詳しくは、ACアダプターの取扱説明書をご覧ください。

バッテリーの残量を確認するときは

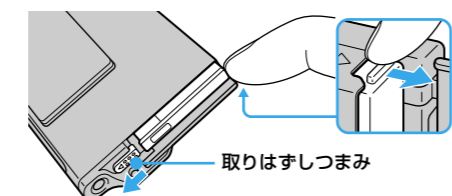
⏻電源ボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

残量表示 60分 残量時間

- 正しい残量時間を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

バッテリーを取り出すときは

バッテリーカバーを開け、取りはずしつまみをずらしバッテリーの用かけに指をかけて取りだしてください。落下防止のため、つまみをずらしたまま下に向けないようにご注意ください。

取りはずしつまみ

海外で使うときは

バッテリーチャージャー(付属)やACアダプターAC-LS5/AC-LS5K(別売り)は全世界(AC100V～240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。

コンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
変換プラグアダプター	不要	

BC-CS3 [a] [b]

- 変換プラグアダプター[a]/電源コンセント[b]の形状は国や地域によって異なります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- **電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。**

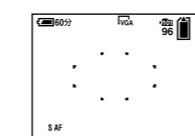
時計合わせをやり直すときは

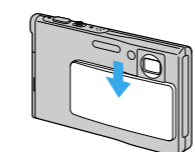
(セットアップ)メニュー画面で[時計設定]を選び、手順❸を行う。
→*別冊「活用編・困ったときは」50ページ*

時刻表示について

- 手順❸-1で[日/月/年]を選んだときは、24時間表示になります。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。

電源を入れたときのご注意

- 時計合わせをしないと、電源を入れるたびに時計設定画面が表示されます。
- 2回目以降、電源を入れたときは下の画面が表示されます。

レンズカバーを開けるときは

- レンズカバーを開く動作が早すぎると、本機の電源が入らないことがあります。この場合はゆっくりと操作をやり直してください。
- レンズに触れないようご注意ください。

電源を切るときは

レンズカバーを閉めるか、⏻電源ボタンを再び押す。

- バッテリー使用時に、電源を入れたまま一定時間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐために自動で電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→*別冊「活用編・困ったときは」11ページ*

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
5M(2592×1944)(お買い上げ時の設定)	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリント	少ない	精細
3:2(2592×1728)*			
3M(2048×1536)			
1M(1280×960)	写真のL判にプリント		
VGA(Eメール)(640×480)	より多くの画像を撮影 電子メールで送る/ホームページ作成	多い	粗い

* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→*別冊「活用編・困ったときは」20ページ*

- 記録枚数は、撮影状況によって異なります。

"メモリースティック デュオ"を取り出すときは

カバーを開け、"メモリースティック デュオ"を1回押す。

- アクセスランプ点灯中は、絶対に"メモリースティック デュオ"を取り出したり電源を切らないでください。データが壊れることがあります。

裏面へつづく

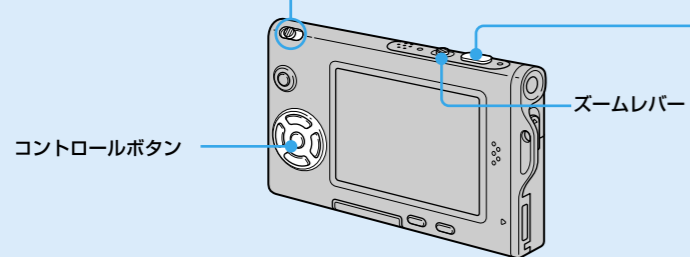
5 簡単に撮る（オート撮影）

❶ モードを選ぶ。

静止画（オート撮影）のとき

「📷」にする。

動画のとき

「🎞」にする。

❷ シャッターボタンで撮影する。

静止画のとき

動画のとき

録画を止めるには、もう1度シャッターボタンを深く押し込む。

コントロールボタンの機能を使うには

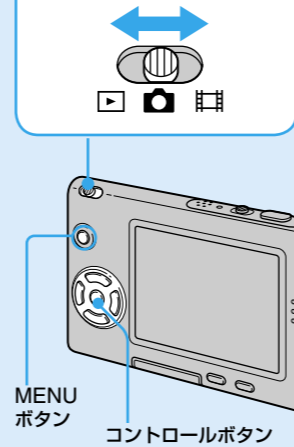
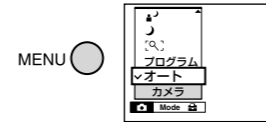
ズームするには

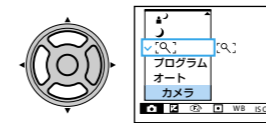
ズームレバー

W T

- 動画撮影中はズーム倍率を変えられません。
- レンズの倍率（3倍）を超えると［デジタルズーム］になります。
  ［デジタルズーム］の種類と画質について→*別冊「活用編・困ったときは」42ページ*

場面に合わせて静止画を撮る（シーンセレクション）

❶「📷」にする。

❷ MENUボタンを押す。

❸ ◀で「📷」（カメラ）を選び、▲/▼で撮影モードを選ぶ。

- 撮影モードについては、下をご覧ください。
- 選んだ設定は、電源を切った後も保持されます。

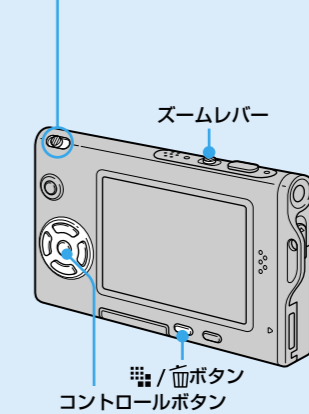
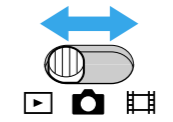
❹ MENUボタンを押してメニュー表示を消す。

❺ シャッターボタンで撮影する。

シーンセレクションを解除するには

▲/▼で［オート］または［プログラム］を選ぶ。

6 画像を見る／削除する

❶「▶」にする。

❷ ◀（前）/▶（次）で画像を選ぶ。

静止画の場合：画像サイズを表示

動画の場合：🎞 を表示

🎞 動画を再生するには

●を押す。

早送り/巻き戻し：◀/▶
（通常再生に戻るには●）

音量調整：▲/▼

再生中止：●

- 画像サイズ［160］で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。

画像を削除するには

1 削除したい画像を表示して▦ / 🗑（削除）ボタンを押す。
2 ▲で［削除］を選び、●を押す。

削除を中止するには

［終了］を選び、●を押す。

最後に撮った静止画を見る（クイックレビュー）

コントロールボタンの◀（⊡）を押す。
やめるには、もう一度◀を押す。

- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、▦ / 🗑（削除）ボタンを押し、コントロールボタンの▲で［削除］を選び、●を押します。

⚡ 静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順❷の前に、コントロールボタンの▲（⚡）を押す。押すごとに、設定が変わる。

表示なし 光量不足と判別したとき発光（お買い上げ時の設定）

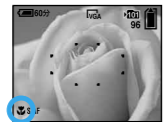
⚡ **強制発光**

⚡SL **スローシンクロ（強制発光）**
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

発光禁止

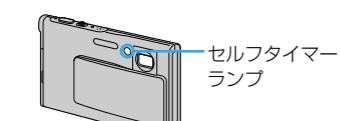
- フラッシュ推奨距離（［ISO］が［オート］の時）
  W側 約0.1～2.6m
  T側 約0.5～2.1m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

被写体に近接して撮る（マクロ撮影）

手順❷の前に、コントロールボタンの▶（🌷）を押す。
やめるには、もう一度▶を押す。

- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。
- 近接（マクロ）撮影よりさらに近距離で撮影したい場合は、シーンセレクションの［🔍］（拡大鏡モード）をご使用ください。

レンズ先端からの撮影可能距離
W側いっぱいのとき：約8cm
T側いっぱいのとき：約25cm

セルフタイマーで撮る

手順❷の前に、コントロールボタンの▼（⏲）を押す。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピ」と操作音が鳴り、約10秒後に撮影される。

- 三脚（別売り）のご使用をおすすめします。

静止画のピントがうまく合わないときは

- 被写体まで、約50cm以上の距離が取れないときは、「マクロ撮影」（左記）する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体：

– 被写体が遠くて暗い
– 被写体と背景のコントラストが弱い
– ガラス越しの被写体
– 高速で移動する被写体
– 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
– 点滅する被写体
– 逆光になっている被写体

画面の表示については

→*別冊「活用編・困ったときは」15ページ*

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

🔍 拡大鏡モード
被写体が液晶画面上に最大3.5倍に拡大されて表示される。

被写体までの距離	拡大表示倍率
1 cm	3.5倍
2 cm	2.2倍
5 cm	1.1倍
10 cm	0.5倍
20 cm	0.3倍

- ピントが合う被写体までの距離は約1cmから20cmです。
- 光学ズームはW側に固定され使えません。
- ズームレバーを押すと、デジタルズームで拡大して撮影できます。

夜景モード*
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮る。

夜景&人物モード*
夜景をバックに、手前の人物を撮る。

キャンドルモード*
キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮る。

ソフトスナップモード
人物や花などを、優しい雰囲気で撮る。

風景モード
遠景にピントを合わせ、遠くの風景などを撮る。

高速シャッターモード
明るい場所で、動きのある被写体を撮る。

ビーチモード
海や湖畔など、水の青さを鮮やかに撮る。

スノーモード
白い風景を明るく撮る。

打ち上げ花火モード*
打ち上げ花火をきれいに撮る。

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

手順❺で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。使えない機能のボタンを押すと、ピピピと音が鳴ります→*別冊「活用編・困ったときは」23ページ。*

拡大して見るときは（拡大再生）

静止画を再生中に ズームレバーを🔍+側にずらすと、ズームできる。🔍−側にずらすと戻る。
ズーム位置変更：▲/▼/◀/▶
ズーム中止：●

- 拡大した画像を保存するには：［トリミング］→*別冊「活用編・困ったときは」40ページ*

一覧（インデックス）表示で見るときは

ズームレバーを▦側にずらし、▲/▼/◀/▶で画像を選ぶ。●を押すと、シングル画面に戻る。◀/▶を押し続けると、次の画面に移る。

もう1度ずらすと16画面表示になります。

一覧（インデックス）表示で画像を削除するときは

1 一覧表示中に ▦ / 🗑（削除）ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で［選択］を選び●を押す。
2 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して 🗑（削除）マークを付ける。

削除を中止するには
取り消したい画像を選んで●を押し、🗑 マークを消す。

3 ▦ / 🗑（削除）ボタンを押す。
4 ▶で［実行］を選び●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で［選択］の代わりに［フォルダ内全て］を選んで●を押してください。